高知女子大学生生活科学部の現状

後藤 昌弘

1. はじめに

高知県は、面積約 7,100 km²の四国の南部半分をしめる大きな県です。高知女子大学は、この高知県の中央、高知市にある県立の4年制大学です。

2. 大学の歴史

本学の歴史は、昭和20年に開校した高知県立女子医学専門学校に始まります。昭和22年に高知県立女子専門学校と改称され、昭和24年に高知女子大学家政学部生活科学科の1学部1学科の大学として設立認可されました。これは、国公立大学初の「家政学部」であり、また、四国唯一の女子大学でもありました。その後、昭和27年家政学部看護学科（大学では日本初）の設置、昭和31年に文学部（国文学科、英文学科）が増設されました。昭和39年には、家政学部生活科学科を家政学科、食物栄養学科、生活理学科の3学科に改編しました。昭和50年には保育短期大学部が開学しました。その後、平成10年の改組により、家政学部は生活科学部、文学部は文化学部、保育短期大学部は社会福祉学部、家政学部看護学科は看護学部になり、キャンパスも従来の永国寺キャンパス（生活科学部、文化学部）に加えて、池キャンパス（看護学部、社会福祉学部）が新設され、4学部を擁する総合大学になりました。さらに、平成13年4月には公立大学で初めての複合領域の大学院、人間生活学研究科（修士課程）、健康生活科学研究科（博士後期課程）が設置されました。

3. 学部・学科の構成と特徴

現在の生活科学部は、生活デザイン学科、健康栄養学科、環境理学科の3学科より構成されています。各学科とも定員は20名です。このため、講義のみならず実験、実習でも行き届いた教育を受けることができます。また、学生の自主的・主体的学習を援助できる体制を作っています。

地域に開かれた大学をめざし、各学科とも毎年公開講座を実施しています。健康栄養学科ではオープンレクチャーと称して一部の授業を一般に公開する他、卒業研究発表会も一般に公開しています。また、地域の

栄養士を対象としたリカレント教育も実施しています。

生活科学部では、平成12年度に「見て聞いて味わって土佐再発見！土佐学入門」、13年度に「土佐学入門 Part 2」として、生活科学だけでなく文化、芸術様々な面から土佐（高知）を考え、再発見していこうとする公開講座も実施しました。本学で土佐学を構築し、発信させるべく企画した公開講座ですが、徐々に県民のご理解・ご支援をいただけるようになってきました。

4. 生活科学部の教育理念と教育目標

生活科学部の教育理念と教育目標を以下に示します。
教育理念：人間生活を取り巻く様々な現象を『個としての人間、家族、生活の質』、『人間発達や健康の維持・増進』、『自然環境と人間生活の関わり』と言う面から科学的に分析し、認識することを通じて、生活者の視点から、来るべき時代の新たな生活様式を創造し得る人材を養成する。

教育目標：

- ① 生活科学のジェネラリストとしての能力の養成
生活全般の諸問題に関する基礎的・全般的な知識を獲得させることにより、生活全般を幅広い視点から捉えることのできる能力を養成する。
- ② 生活科学のスペシャリストとしての能力の養成
生活デザイン学科では、家庭、地域、職場で新たな生活様式を創造・デザインすることのできる能力を養成する。健康栄養学科は、個人・地域において、「食」、「栄養」の視点から健康の保持・増進に指導的な役割を果たすことのできる能力を養成する。環境理学科は、よりよい生活環境の創造に生活者の立場から寄与できる能力を養成する。
- ③ 問題を提起し、科学的に考察し解決する能力の養成
多様化・複雑化する人間社会に存在する問題を主体的に解決することのできる基礎能力及び科学的考察力を養成する。
- ④ 地域社会における実践能力の養成
地域生活上の諸問題を住民と協力しながら取り組むことのできる実践的能力を養成する。

表 1. 生活科学部で取得可能な学位, 免許, 資格等

	学 科 名		
	生活デザイン学科	健康栄養学科	環境理学科
学 位	学士 (生活デザイン学)	学士 (健康栄養学)	学士 (環境理学)
教員免許の種類 (教科)	中学一種家庭, 高校一種家庭	中学一種家庭, 高校一種家庭	中学一種理科, 高校一種理科
その他の免許・資格	学芸員	栄養士	学芸員
受 験 資 格	二級建築士及び木造建築士 (建築に関する課程, 一年以上の実務経験) 改良普及員	管理栄養士 (一年間の実務経験が必要) 改良普及員	改良普及員

表 2. 家政学部学科別・業種別就職状況

年 度	平成 12 年度					平成 11 年度					平成 10 年度				
	家政	食物 栄養	生活 理学	看護	合計	家政	食物 栄養	生活 理学	看護	合計	家政	食物 栄養	生活 理学	看護	合計
卒業者数	23	21	18	25	87	26	19	19	27	91	17	23	19	27	86
就職希望者数	23	19	15	22	79	20	18	14	26	78	16	19	18	27	80
就職決定者数	20	16	13	21	70	18	17	12	26	73	15	15	14	27	71
就職率 (%)	87.0	84.2	86.7	95.5	88.6	90.0	94.4	85.7	100.0	93.6	93.8	79.0	77.8	100.0	88.8
業種別内訳															
建設業	3				3			1		1					
製造業		5	1		6	1				1	1	1			2
卸売・小売業	8	4	4		16	6	6	1		13	4	3	4		11
金融・保険業	4		1		5	1		1		2	1	1	2		4
運輸・通信業															
電気・ガス・水道業								1		1					
医療保健	1	2		21	24		4	1	26	31		3		27	30
教育-教員	1				1	1				1	1	1	1		3
教育-職員	1				1	1				1					
サービス業	1	2	7		10	5	1	4		10	5		6		11
公務		3			3	2	5	2		9	1	5			6
上記以外	1				1	1	1	1		3	2	1	1		4
合 計	20	16	13	21	70	18	17	12	26	73	15	15	14	27	71

医療保健, 教育-職員には, 公務員が含まれている。

⑤ 情報発信・情報交換能力の養成

地域に根ざした研究・教育の成果に関する情報を全国・世界に発信し, 情報の交換を通じて問題解決を図ることのできる能力を養成する。

5. 取得資格

各学科の学位, 免許, 資格等の取得は表 1 に示しました。

6. 卒業後の動向

平成 13 年度は改組後初めての卒業生を出すこととなりますが, 就職動向は現在集計調査中であるため 12 年までの旧家政学部卒業生の就職状況を表 2 に示します。家政学科は現在の生活デザイン学科, 食物栄養学科は, 健康栄養学科, 生活理学科は環境理学科に相当します。